



愛媛パッケージ株式会社

COMMUNICATION ON PROGRESS

対象期間：2013年1月～2013年12月

2013年度 報告

★ 目次	P. 2
★ トップステートメント	P. 3
★ グローバルコンパクト10原則	P. 4
★ 会社概要	P. 5
★ 2013年活動基本方針	P. 6
★ 人権労働分野に関する活動報告	P. 7
★ 環境腐敗防止に関する活動報告	P. 8
★ その他の活動報告（啓発活動への参画）	P. 9
★ その他の活動報告（地域貢献への参画）	P. 10
★ ステークホルダーに伝達法	P. 11



愛媛パッケージ株式会社は、2011年1月に国連の提唱する「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野にわたる原則からなる「国連グローバル・コンパクト」に賛同・署名を行いました。

私たちは、グローバル・コンパクト署名企業として社内外のCSR活動を通じ、グローバル企業としての責任を積極的かつ継続的に果たしてまいります。

2014年 2月1日

代表取締役社長

井川直樹

グローバルコンパクト10原則

人権 企業は

- 原則 1 国際的に宣言されている人権の保護を支持し、尊重し
- 原則 2 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

労働基準 企業は

- 原則 3 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
- 原則 4 あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
- 原則 5 児童労働の実効的な廃止を支持し、
- 原則 6 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

環境 企業は

- 原則 7 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
- 原則 8 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
- 原則 9 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

腐敗防止 企業は

- 原則 10 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

会社概要

会 社 名 : 愛媛パッケージ株式会社

本社・工場 : 愛媛県松山市余戸中6丁目6番5号

設 立 : 1954年 5月

資 本 金 : 28,750 千円

年 商 : 24億円

代 表 者 : 代表取締役 井川 直樹

従業員数 : 76名

事業内容 : 段ボール、段ボール箱の製造販売、他

グループ : 株式会社 グローバル フェローズ、他

愛媛パッケージ株式会社 では、重点目標の中でもより ステークホルダーの皆様の関心が高い項目を中心に 2013年度 CSR活動計画を策定し、全社員で一体感を持った取り組みを進めてまいります。

また CSR活動を進めていく中で、活動の随時見直しを行うとともに中期展開の方向および課題の整理も合わせて行います。

愛媛パッケージ株式会社は今後とも、経済的、社会的、環境的側面からバランスのとれた公正な経営を行い、持続的発展をして参ります。

人権、労働分野に関する活動報告

人権分野に関する活動報告		
本年度の活動目標・内容	結果と評価	来年度の活動目標・内容
愛媛県立みなら特別支援学校から実習生としてきていた生徒を採用し、定着できるよう、指導教育をはかる。	○ 愛媛県立みなら特別支援学校の生徒を4月に採用した。 定着できるよう同僚とのリレーションシップ支援、教育訓練を実施した。	障害者などに対する差別や、偏見の事案が起きないように、一般社員との融和促進を進める。

労働分野に関する活動報告		
本年度の活動目標・内容	結果と評価	来年度の活動目標・内容
年間休日を105日から108日に3日間増やす。従業員が健康で自己実現に費やす時間を増やす。	○ 年間休日を105日から108日に3日間増やすことにより、従業員が自己実現や、健康向上活動、家族と過ごす時間を増やすことなどができた。	継続して職場環境の改善活動を進めて行く。
清潔で快適な職場環境を整備すべく、更衣室等の改善も進めていく。	○ 6月に更衣室を増床し、ロッカーを増やした。 7月にトイレのリフォームとともに個数を増加して、職場生活環境を整備した。	社内の駐車エリアやスペースの改善をはかり職場環境の整備をする。
長時間労働による健康被害の防止対策。	○ 従業員の労働時間を管理し、ワークシェアリングすることにより、個々の労働時間の短縮をはかった。 安全で快適な職場環境作り活動で、現在1628日無災害記録を更新中。	長時間労働による健康被害の防止対策として、高速運転が可能な生産設備に更新し、効率化をはかる。 無災害記録2000日達成をめざして、なお一層の安全活動を推進する

環境、腐敗防止分野に関する活動報告

環境分野に関する活動報告		
本年度の活動目標・内容	結果と評価	
今後もH22年の猛暑時に対し10%節電に取り組む。	○	5月コル棟の水銀灯消費電力400W をエコ水銀灯150Wに47台を更新した。冬場の節電のために加熱の必要な糊タンクに断熱材を施工するなどして、節電に努めた。
環境の改善に向け温室効果ガス排出の減少を、従前の重油対比100 t -Co2を目標として、一層の取り組みを推進する。	○	ガス式ボイラーに更新し、温室効果ガス排出が重油式に比べて1年間で 333t -Co2と大幅な Co2の削減が達成できた。
毎年防災訓練を繰り返すことにより避難、通報、救助の連係や救命効果を上げる。 火災報知機器の改善。	○	6月27日に会社、社宅ともに避難、通報、救助、訓練を実施した。 火災報知機器の改善をして、非常時の対応を迅速化させた。 JC-AID を全員に配布し災害に備えた。
		来年度の活動目標・内容
		年間を通じ、工場設備、管理設備などの見直しをして節電に取り組む。
		環境の改善に向け温室効果ガス排出の減少を、引き続き重油対比 330 t -Co2を目標として、一層の取り組みを推進する。
		毎年防災訓練を繰り返すことにより避難、通報、救助の連係や救命効果を上げる。

腐敗防止分野に関する活動報告		
本年度の活動目標・内容	結果と評価	
官公庁等の入札に関する談合への関与禁止。	○	愛媛県、松山市など各市町村に入札参加を窺っていたが入札機会に恵まれなかった。
		来年度の活動目標・内容
		継続して公正な取引を展開してゆく。

その他の活動報告（啓発活動への参画）

e-package

2013年7月横浜市で、日本青年会議所主催のサマーコンファレンス2013が開催され井川直樹が直前会頭として参画した。

公益社団法人日本青年会議所
2013年度国際アカデミー委員会に直前会頭として井川直樹が参画した。

国内外での相互理解プログラムに井川直樹が直前会頭として参画した。

JCI

新しい時代を切り拓く
私たちの決断が日本を変える

15フォーラム同時開催
参加無料

SUMMER CONFERENCE 2013
in パシフィコ横浜

7/20±21日

事前予約可能

全員の地域のため一歩に

全日本青年会議所連合会

公益社団法人日本青年会議所



公益社団法人日本青年会議所
相互理解プログラム
MUTUAL-UNDERSTANDING PROGRAM

日本人と外国人を相互理解でつなげ
よりよい関係を構築しましょう!

相互理解プログラムは
このような時に
活用できます

- 次代を担う若い世代へ、国際交流の機会を提供するために。
- 姉妹都市との国際交流をより充実させるために。
- 姉妹JCとの交流をさらに深めるために。

上記以外、または地域で国際交流をお考えの方は
お気軽に下記までお問い合わせください。

※プログラムの対象は中学生以上となります。

近隣諸国と相互理解を深め、お互いに
発展し合えるパートナーシップ（協力
関係）を築きましょう。

WORLD PEACE AND PROSPERITY

2013年7月20±21日

パシフィコ横浜

お問合わせ

JCI 公益社団法人日本青年会議所 相互理解確立委員会

事務局 電話 090-2895-7777 e-mail fujimasa@722email.com
総務部長 佐藤 伸典 090-2292-5454 e-mail mabashi@fukuoka-jci.jp

e-package

7月14日（日）の早朝に松山市中心街にて、第38回・松山市民大清掃が開催され当社も協賛しました。

愛媛文化の振興と地域活性化を図り、明るくさわやかで活力のある郷土づくりを目指すため、芸術文化から産業文化まで幅広い分野のアマチュア文化の祭典である県民総合文化祭に当社も協賛しました。



このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容を
どのようにしてステークホルダーに伝えますか

グローバルコンパクトのWEBに掲載します。
自社のWEBサイトに掲載します。